

## 第9回JR貨物連合

### 定期大会を開催する

10月10日、都内において、第9回JR貨物連合定期大会を開催し、総勢35名が結集しました。山田事務局長（南関東ロジ）による開会挨拶後、資格審査を経て大会が成立し、橋爪代議員（貨物鉄産労）を議長に選出し議事は進められました。スローガン（案）の提起後、大杉会長の挨拶では、「貨物連合発足から、これまでいろいろな面でご理解ご協力を頂き、この場を借りてお礼申し上げます。今年は大規模な自然災害が多く発生し、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く元の生活にも戻れることを切に願う。災害に見舞われた組合員は、共済を活用し少しでも負担を軽減し、未加入の方には今後のためにも共済加入を強く勧める。山陽線が長期に亘り不通となり、会社の状況は、周知の通り、大変厳しいものとなっている。今後どこまで回復できるかが課題であるが、現場で働く皆さんは、安全最優先の作業をお願いしたい。各ロジ労組の諸課題については、貨物連合として解決を図っていききたい」と挨拶されました。来賓には、交運共済坪井理事長様・JR連合より、北村グループ担当部長様、中村安全担当部長様の3名にお越し頂き、始めに坪井理事長より、「大会のご盛會おめでとうございます。日頃より大変お世話になっています。貨物連合が発足した当時、私はJR連合会長をしており、発足した当時は

今でも懐かしく思う。大杉会長の挨拶でもあったが、今年には自然災害が多発し、全国各地で被害がでており、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。共済として、被害に遭われた組合員のお力に少しでもなれるよう私達は最大限サポートしていくことをお約束する。また、日頃から共済を有効的に活用して頂き、今後も加入促進等、皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶されました。続いて、JR連合を代表し、北村部長より「定期大会のご盛會誠にありがとうございます。日頃からJR連合の諸活動にご協力頂き感謝申しあげます。また、度重なる自然災害で被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。JR貨物における政策課題については、JR連合として責任をもって対応していききたい。今後、JR連合は、しっかりと支援行動し貨物連合がさらに飛躍していくことを期待している」と挨拶されました。次に、辻村事務局次長より、2017活動報告・2017決算報告、2018予算（案）・2018活動方針（案）が読み上げられ、質疑応答に入りました。集約答弁後、スローガン（案）・2018活動方針（案）が読み上げられ、続いて、役員改選を行い新しい執行部体制が成立し、新旧役員挨拶後、議長を解任し、木村副会長（九州ロジ）より、大会宣言（案）読み上げられ、採択し、

木村副会長による閉会挨拶後、大杉会長による「団結ガンバロー」で、大会は成功に閉会しました。大会終了後、JR貨物連合安全ディスカッションを開催し、始めにJR連合中村部長から、JR連合の安全の取り組みについて説明して頂き、辻村事務局次長が進行役を務め、各労組から、現場での安全に関する問題点を上げてもらい、大きな事故が起きる前に解決していくため、今後、貨物連合としてどう取り組んでいくか話し合いを行いました。終了後、場所を移動し、懇親会を開催し、仲間との交流をさらに深めました。

「2018新役員体制」  
会長・大杉正美（貨物鉄産労）  
副会長・石井宣孝（中国ロジ）  
副会長・木村龍雄（九州ロジ）  
事務局次長・山田春信（南関東ロジ）  
事務局次長・辻村和裕（貨物鉄産労）

「退任された役員」  
前村安男（中国ロジ）。前村副会長、長きに亘り大変お疲れ様でした。



橋爪議長



JR連合北村部長



JR連合中村部長



交運共済坪井理事長

人災にも  
天災にも  
頼れる共済。



みんなで暮らしをガード  
交運共済  
全国交運共済産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/  
交通災害共済/生命共済/入院共済

協賛/提携団体：東京海上火災保険株式会社



# JR産業の発展に向け、 民主的労働組合・労使関係を築く 総決起集会を開催！

JR連合は、10月10日、都内において総決起集会を開催し、全国より約300名の仲間が結集し、貨物連合からは30名が参加しました。主催者を代表し挨拶にたったJR連合松岡会長は、「今こそ最大のチャンスと捉え、真に自由にして民主的な労働組合の勢力を伸ばし、あるべき労働組合・労使関係を確立しよう」と力強く述べられ、来賓挨拶では、JR連合国会議員懇談会会長榛葉参議院議員よりご挨拶を頂戴しました。

続いて、JR連合中山組織部長より、民主化に向けてのJR連合の取り組みを紹介し、有識者からの激励では、ノンフィクションライター西岡研介氏より、熱い激励の言葉を頂きました。各単組からの決意表明では、貨物鉄道労から吉永中央執行委員が、今後の決意を力強く述べられ、続いて、JR連合鈴木青年・女性委員会事務長より集会アピールを提起し採択され、最後に松岡会長による「団結ガンバロー」で閉会しました。翌日は街頭行動として、ピラ配布を行いました。



吉永中央執行委員



## JR連合九州地協第27回 定期委員会を開催する！

9月22日（土）福岡市・JR九州労組本部会議室において、JR連合九州地協第27回定期委員会が開催されました。議長に井口委員（JR九州労組）を選出した後、常任委員会を代表してあいさつに立った中原議長（JR九州労組中央本部委員長）は、「安倍首相が自民党総裁選で3期当選したが、この間私利私欲の政治によって、国民の中に蔓延する閉塞感や、政治家・官僚の虚偽隠蔽、挙句の果てにはセクハラなど、この国の政治姿勢に対する不信を増幅させている。」

最後の任期になり、戦争のできる国を目指し悲願である改憲に強い意欲を示しているが、われわれ労働組合が

率先して、平和の大切さと憲法を守る運動を行わなければならない。民進党は分裂してしまつたが、来春の統一地方選挙、参議院選挙の確実な投票行動、積極的なかわりをお願したい」と所見を述べるとともに、「安全最優先の職場風土づくり」「政治的政策課題の取り組み」「2019春闘の取り組み」「民主化の取り組み」について問題提起を行い、「JR連合九州地協に結集する加盟単組が一丸となって、JRが果たす社会的役割を自覚を持って取り組んでいこう」などと訴えました。

次に来賓として、JR連合河村事務局長、交通共済九州事業本部福田本部長から連帯と激励のあいさつをいただきました。その後「JRの安全確立と信頼回復」「民主化闘争完遂」「JRの発展に向けた政策実現」「労働条件向上」などの新年度運動方針案が満場一致で採択され、最後に中原議長による「団結ガンバロー」にて委員会は終了しました。



## 西日本豪雨復興ボランティア活動に参加

9月18日（火）、連合福岡主催による西日本豪雨復興ボランティア活動に、10名（JR連合から4名）の仲間とともに参加しました。今回の場所は広島市坂町地区で、8時30分にボランティアセンターに集合すると、多くの参加者があり熱気が感じられました。

私たちは、13名1チームで行動し現地向かいました。途中土砂やがれきが積み上げられ、災害から2カ月たって、民家や道路はきれいになっていきましたが、家々を見ると豪雨のシミが背高ほどあり、畳は上げられ当時のひどさが目に浮かびました。私たちは、まだ手付かずの民家で裏山の修復にあたりました。もともと段々畑でぶどうやキウイを栽培していましたが、豪雨で農作業小屋まで流されていきました。今後大雨が来た時に二次災害が起きる可能性がある。土を積み上げ雨水の流れを変える作業を行いました。真夏の猛暑に比べ幾分涼しかったものの、かなりの重労働で、15分作業して10分休憩を繰り返して、午前中まで出来上がりしました。午後からは鳥獣除けの金網や、小屋の掘り起し作業に携わり、15時に作業を終えた時には、皆へとへととなりました。ボランティア参加者の中には、東京から女性一人で連休3日間呉市をはじめ、被災各地を回っている方もおり、頭の下がる思いです。帰路は広島名物のお好み焼きをつまみに、疲れた体に「栄養液」を補給した次第です。まだまだ復興は道半ばです。継続的な支援が必要であると感じました。貴重な経験となるボランティア活動に、ふるって参加方よろしくお願ひします。



安全運転と  
安心補償で  
ハンドルを握る。



マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなで暮らしをガード  
交通共済  
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

セット加入でパワフル補償